
千火戦詩《センカセンシ》

フリーッシュトラッシュ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

センカセンシ
千火戦詩

【Nコード】

N66680

【作者名】

フリーシユトラッシュ

【あらすじ】

普段私たちは気にしないと思うが、私たちは多くの人を殺して生きてきていると思う。

実際には殺していないが、歴史が残してるのは事実だと思う。
そんな意味がこもっているはずです。

狂え

狂え

狂え

真っ赤に染まった骸の上で

今日も僕らは生き続ける

幸福の代償は

他人の命

自分の命は

渡さない

仕事が無いから自殺した

生きるのが苦しいから自殺した

首吊り、飛び降り、練炭に

薬、飛び出し、お前ら馬鹿？

死にたくても死ねない地獄に

お前たちを落としてやりたい

足が吹っ飛ばうが

腕が千切れようが

道具として使えるなら生かされ続ける

そんな地獄に落としてやりたい

戦争に勝敗なんてものは無い

ただ兵士と兵士のチェスゴツコ

子供が自分たちの正義を貫きたいがためのお遊戯だ
さて

そのお遊びに一体いくらの人が死ぬ？

人の命は戦場では数としか捕らえてくれない

真っ赤な花を咲かせましょう

頭
に
胸
に
腕
に
脚
に
腹
に
そして
終わり
無い
戦場
に

(後書き)

今日は、フリーリッシュトラッシュという者です。
こんな狂った詩を書いています。
本人は来るってはいません。
読んでくれてありがとうございます

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6668o/>

千火戦詩《センカセンシ》

2010年11月2日21時53分発行